

## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月8日

上場会社名 株式会社 ニッピ  
コード番号 7932 URL <https://www.nippi-inc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河村 桂作  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 井上 善之

TEL 03-3888-5117

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	22,417	15.8	1,027	10.5	1,239	12.0	831	20.3
2022年3月期第2四半期	19,363	13.3	1,147	97.1	1,106	91.7	691	83.3

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,047百万円 (38.4%) 2022年3月期第2四半期 756百万円 (81.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	289.08	
2022年3月期第2四半期	240.28	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	70,121	34,868	48.9
2022年3月期	68,417	33,996	48.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 34,260百万円 2022年3月期 33,412百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		60.00	60.00
2023年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	14.4	1,650	6.2	1,750	1.5	1,200	4.8	417.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	2,889,000 株	2022年3月期	2,889,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	12,945 株	2022年3月期	12,945 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	2,876,055 株	2022年3月期2Q	2,876,087 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の第7波が一服し、感染予防対策と経済社会活動のバランスを図ったうえでの行動規制、また、外国人観光客の受け入れ制限の緩和などの政策により個人消費、インバウンド需要を中心に景気は回復していくと見込まれているものの、ウクライナ情勢悪化に端を発したエネルギー価格上昇や欧米諸国のインフレ抑制を企図した金利引き上げに伴った円安により、物価上昇に歯止めがかからず実質購買力が低下し、また、金利上昇が世界経済の回復を鈍化させるなど国内外の景気下振れリスクも懸念されております。

このような経営環境のもと、引き続き製造費、販売費、管理費の削減、高付加価値商品の開発などに取り組んでまいりました。当第2四半期連結累計期間は、皮革関連事業では採算面で苦戦が続いているものの、緩やかな景気回復のもと、各報告セグメントではほぼ増収となりました。一方で、原材料費、動力費などの価格高騰で製造原価が上昇し、広告費や運賃など販売費用の増加により営業利益は減益となりました。また、大幅な為替変動に伴う為替差益が一時的に発生し、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、22,417百万円(前年同四半期比15.8%増)となり、営業利益は、1,027百万円(同10.5%減)、経常利益は、1,239百万円(同12.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、831百万円(同20.3%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① コラーゲン・ケーシング事業

国内販売は堅調に推移し、輸出販売も北米を中心に好調に推移した一方で、原材料、エネルギー価格の急激かつ大幅な上昇の影響により製造コストは上昇し、減益となりました。

この結果、売上高は、4,942百万円(前年同四半期比15.5%増)、営業利益は、387百万円(同47.2%減)となりました。

#### ② ゼラチン関連事業

ゼラチン販売は、カプセル、グミ用途などが好調に推移し、ペプタイド販売は、国内外市場ともに健康志向を背景に堅調に推移いたしました。また、輸入原料価格は輸入為替の影響もあり上昇が続いていることから、販売価格への調整を段階的に実施いたしました。

この結果、売上高は、5,764百万円(同14.8%増)、営業利益は、436百万円(同50.3%増)となりました。

#### ③ 化粧品関連事業

化粧品の販売は、スキンケア通販市場での競争が激しさを増し苦戦を強いられましたが、健康食品「ニッピコラーゲン100」は引き続き健康志向の高まりを背景に好調に推移いたしました。

この結果、売上高は、3,135百万円(同10.2%増)、営業利益は、517百万円(同21.8%増)となりました。

#### ④ 皮革関連事業

靴用革の販売は、紳士用、婦人用ともに革靴需要が回復傾向となり増収増益となりました。ハンドル用革の販売は、上海のロックダウンの影響で出荷が滞り減収となり、また、原材料費、加工費、輸入為替などコストの上昇を転嫁しきれずに採算面で苦戦が続きました。

この結果、売上高は、3,752百万円(同16.5%増)、営業利益は、4百万円(前年同四半期は営業損失74百万円)となりました。

#### ⑤ 賃貸・不動産事業

東京都足立区の土地賃貸事業は、大規模商業施設、保育所、フットサルコート、駐車場など有効活用を図っておりますが、賃貸契約が一部終了し賃貸収入が減少いたしました。また、大阪府大阪市の土地賃貸事業は、中央区心斎橋において商業施設用地として有効活用を図るほか、浪速区なんばのホテル及びオフィス棟建設工事は順調に進捗し、新規事業を着実に推進しております。

この結果、売上高は、415百万円(前年同四半期比3.7%減)、営業利益は、311百万円(同7.8%減)となりました。

#### ⑥ 食品その他事業

有機穀物は、コンテナ不足による物流の滞りが解消傾向となり、また、外食産業向けのイタリア輸入食材は、行動制限の緩和により需要が回復傾向となりましたが、輸入為替の影響により利益率は低下いたしました。また、バイオ関連製品は、国内外の製薬会社や民間研究機関を中心に順調に推移いたしました。

この結果、売上高は、4,407百万円(同23.6%増)、営業利益は、153百万円(同0.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、70,121百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,704百万円増加しました。これは主に、未収還付法人税等が488百万円減少しましたが、増収に伴い、受取手形及び売掛金が1,453百万円、棚卸資産が743百万円増加したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、35,253百万円となり、前連結会計年度末と比べ832百万円増加しました。これは主に、長期借入金が1,158百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が1,508百万円、短期借入金が273百万円、未払法人税等が286百万円増加したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、34,868百万円となり、前連結会計年度末と比べ872百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が658百万円、為替換算調整勘定が232百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、本日(2022年11月8日)公表いたしました「2023年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,794	6,958
受取手形及び売掛金	7,862	9,316
商品及び製品	7,176	7,605
仕掛品	630	698
原材料及び貯蔵品	1,354	1,600
未収還付法人税等	488	-
未収消費税等	192	230
その他	548	602
貸倒引当金	△42	△61
流動資産合計	25,005	26,952
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,255	7,979
機械装置及び運搬具(純額)	1,236	1,065
土地	28,522	28,522
リース資産(純額)	50	41
建設仮勘定	934	1,167
その他(純額)	185	170
有形固定資産合計	39,184	38,945
無形固定資産		
リース資産	67	52
その他	201	211
無形固定資産合計	268	264
投資その他の資産		
投資有価証券	3,414	3,465
長期貸付金	16	15
繰延税金資産	74	72
破産更生債権等	3	3
その他	515	459
貸倒引当金	△67	△57
投資その他の資産合計	3,958	3,958
固定資産合計	43,410	43,168
繰延資産	0	0
資産合計	68,417	70,121

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,660	8,169
短期借入金	6,239	6,513
1年内償還予定の社債	100	100
リース債務	52	51
未払法人税等	143	429
未払消費税等	42	31
賞与引当金	439	472
役員賞与引当金	41	40
その他	2,199	2,176
流動負債合計	15,919	17,986
固定負債		
社債	100	100
長期借入金	9,659	8,500
長期未払金	488	411
リース債務	71	46
繰延税金負債	1,568	1,540
再評価に係る繰延税金負債	3,644	3,644
役員退職慰労引当金	572	599
退職給付に係る負債	2,174	2,176
資産除去債務	6	6
その他	216	240
固定負債合計	18,501	17,267
負債合計	34,421	35,253
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,404	4,404
資本剰余金	1,930	1,930
利益剰余金	18,377	19,036
自己株式	△38	△38
株主資本合計	24,673	25,332
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	656	623
繰延ヘッジ損益	64	41
土地再評価差額金	7,806	7,806
為替換算調整勘定	344	577
退職給付に係る調整累計額	△133	△122
その他の包括利益累計額合計	8,738	8,927
非支配株主持分	583	608
純資産合計	33,996	34,868
負債純資産合計	68,417	70,121

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	19,363	22,417
売上原価	14,395	17,026
売上総利益	4,967	5,390
販売費及び一般管理費	3,820	4,363
営業利益	1,147	1,027
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	47	52
為替差益	-	212
持分法による投資利益	-	7
その他	22	26
営業外収益合計	71	300
営業外費用		
支払利息	67	66
手形売却損	11	12
為替差損	19	-
持分法による投資損失	4	-
その他	9	9
営業外費用合計	112	88
経常利益	1,106	1,239
特別利益		
固定資産売却益	4	-
投資有価証券売却益	-	5
特別利益合計	4	5
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	79	-
出資金売却損	-	5
土地開発関連費用	18	-
特別損失合計	98	5
税金等調整前四半期純利益	1,011	1,238
法人税、住民税及び事業税	112	379
法人税等調整額	195	△4
法人税等合計	308	375
四半期純利益	703	863
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	31
親会社株主に帰属する四半期純利益	691	831

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	703	863
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△67	△32
繰延ヘッジ損益	△22	△27
為替換算調整勘定	128	232
退職給付に係る調整額	14	11
その他の包括利益合計	53	184
四半期包括利益	756	1,047
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	749	1,020
非支配株主に係る四半期包括利益	7	26

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,011	1,238
減価償却費	689	669
繰延資産償却額	0	0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	8
賞与引当金の増減額(△は減少)	△32	31
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△7	△0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△51	18
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	23	5
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△28	27
受取利息及び受取配当金	△48	△53
支払利息	67	66
為替差損益(△は益)	14	15
持分法による投資損益(△は益)	4	△7
固定資産売却損益(△は益)	△4	-
固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△5
投資有価証券評価損益(△は益)	79	-
出資金売却損益(△は益)	-	5
土地開発関連費用	18	-
売上債権の増減額(△は増加)	343	△1,396
棚卸資産の増減額(△は増加)	△389	△664
仕入債務の増減額(△は減少)	191	1,445
未払又は未収消費税等の増減額	260	△28
その他	273	106
小計	2,412	1,483
利息及び配当金の受取額	47	52
利息の支払額	△61	△61
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,350	306
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,047	1,780
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△0	△100
投資有価証券の売却による収入	1	11
出資金の売却による収入	-	53
有形固定資産の取得による支出	△298	△468
無形固定資産の取得による支出	△10	△12
貸付けによる支出	-	△0
貸付金の回収による収入	1	2
その他	△2	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△309	△490

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3	187
長期借入れによる収入	800	1,075
長期借入金の返済による支出	△2,257	△2,195
配当金の支払額	△201	△172
非支配株主への配当金の支払額	△2	△2
リース債務の返済による支出	△19	△26
長期未払金の返済による支出	△85	△86
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,762	△1,220
現金及び現金同等物に係る換算差額	54	93
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△969	163
現金及び現金同等物の期首残高	7,499	6,621
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,530	6,785

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。